

「その他建築物等」サッシの建材トップランナー制度対象追加に向けた検討状況

1. 2025 年度の取組

「第7次エネルギー基本計画（令和7年2月閣議決定）」では、「省エネルギー性能の向上を建材や設備の観点から支えるべく、トップランナー制度において、窓などの目標基準値の改訂や対象拡大に取り組む」とされていることから、建材トップランナー制度における窓（サッシ）について、「戸建・低層共同住宅等」用に加え、「総合資源エネルギー調査会 省エネルギー・新エネルギー分科会 省エネルギー小委員会 建築材料等判断基準ワーキンググループサッシ及びガラスに関するとりまとめ（令和7年3月31日 経済産業省）」により、「中高層共同住宅」用サッシにもその対象範囲を拡大させる方針を示したところ。

一方、非木造の大中規模建築物（以下「その他建築物等」という。）の窓は、建物の用途ごとに求められる熱損失防止性能が異なることから、建物の用途に応じた適切な目標基準値の設定が必要となるが、サッシの製造事業者等においては、現時点で自社製品が最終的に設置される建物の用途に関して出荷データが整備できていない状況であるため、製造事業者に対して建物用途別出荷データの整備についての取組を求めるとともに、上記とりまとめにおいて、「エネルギー基本計画」等に掲げられた目標を踏まえ、「その他建築物等」から中高層共同住宅を除いた非住宅用サッシについては、原則として建物用途別出荷データの整備が完了した後に目標基準値を設定することとするが、先行して目標基準値を設定すべき建物用途がないか引き続き検討を行う」とこととされた。

これを踏まえ、2025年度においては、「その他建築物等」から中高層共同住宅を除いた非住宅用途のうち、人が寝食を行うため他用途と比較して高い断熱性能が要求されると考えられる「病院・診療所・福祉施設、学校・研究施設、ホテル・旅館・宿泊施設（以下「病院等」という。）用」に着目して検討を進めた。

表 1 2025 年度の検討範囲

昨年度の検討範囲				建物用途区分で見た昨年度の検討範囲	
窓	サッシ	戸建住宅等用	「その他建築物等」用		
		中高層共同住宅用	非住宅用		
			病院等用	それ以外用	
	目標基準値策定済み	過年度検討済み	昨年度の 対象範囲	本検討の 対象範囲	
ガラス	サッシのデータ整備後に「非住宅等用」として検討予定				
	※ガラスメーカーが建物用途別出荷データを整備することは商流上困難				
				区分案	含まれる用途
				共同住宅	マンション、アパート、合宿所、寮、寄宿舎など
				複数用途（住宅を含む）	マンション併設の複合型施設
				病院・診療所・福祉施設	病院、医院、診療所、助産所、母子寮、保育所、託児所、養護施設、特養ホーム、児童館、孤児院、介護センター、身体障害者施設など
				学校・研究施設	校舎、講堂、塾や予備校、教習所、研究所
				ホテル・旅館・宿泊施設	ホテル、旅館、国民宿舎、ペンション、保養所など
				複数用途（住宅を含まない）	マンションを含まない複合施設
				店舗	百貨店、スーパー、レストラン、飲食店、娯楽施設、文化施設、レジャー施設、冠婚葬祭施設など
				事務所	事務所、商社、金融機関、電話局、放送局、出版社、警察、交番、守衛所、旅行代理店、農業協同組合など
				その他	寺院、教会、墓地、埠頭、空港、矯正施設など
				工場及び作業場、倉庫	工場、作業所、下水処理場、ポンプ場、ごみ処理場、検査所、物流・配送センター、卸売市場など
				区分できなかったもの	データの欠損

2. 2025 年度の調査結果

2025 年度は制度追加に向けた方向性整理のため、サッシの製造事業者及び病院等の設計を行っている事業者（以下「設計会社」という。）へのヒアリング調査を行った。

調査の結果、病院等用の設計では高断熱サッシへの関心は乏しく、現状はアルミサッシが主流であることが判明した。また、建物用途別において、優先される性能は主に以下のとおりであった。

- ・「病室」は、感染防止のために高湿度であるため、結露対策のために断熱性能も必要
- ・「学校」は、安全性の優先順位が高いが、暖房負荷が高いため断熱性能も必要
- ・「ホテル」は、意匠性の優先順位が高いが、最近断熱性能も意識され始めた
- ・「商業施設」は、意匠性の優先順位が高い

3. 2026 年度 of 取組

以上を踏まえ、2026 年度は、2025 年度の調査結果に加え、検討対象を「病院等」用サッシのみに限定せず、その他の非住宅用サッシへと拡大し、先んじて目標設定を行うべき用途の特定や制度化を推進する上での課題に係る検討を進めていく方針である。

表 2 2026 年度の検討範囲

今年度の検討範囲		「その他建築物等」用				建物用途区分で見た今年度の検討範囲		
窓	サッシ	戸建住宅等用	中高層共同住宅用	非住宅用		区分案	含まれる用途	
		目標基準値策定済み	過年度検討済み	病院等用	それ以外用			
				昨年度の 対象範囲 ※今年度も 対象に含有	本検討の 対象範囲	共同住宅	マンション、アパート、合宿所、寮、寄宿舎など	
						複数用途（住宅を含む）	マンション併設の複合型施設	
						病院・診療所・福祉施設	病院、医院、診療所、助産所、母子寮、保育所、託児所、養護施設、特養ホーム、児童館、孤児院、介護センター、身体障害者施設など	
						学校・研究施設	校舎、講堂、塾や予備校、教習所、研究所	
						ホテル・旅館・宿泊施設	ホテル、旅館、国民宿舎、ペンション、保養所など	
						複数用途（住宅を含まない）	マンションを含まない複合施設	
						店舗	百貨店、スーパー、レストラン、飲食店、娯楽施設、文化施設、レジャー施設、冠婚葬祭施設など	
						事務所	事務所、商社、金融機関、電話局、放送局、出版社、警察、交番、守衛所、旅行代理店、農業協同組合など	
						その他	寺院、教会、基地、埠頭、空港、矯正施設など	
						工場及び作業場、倉庫	工場、作業所、下水処理場、ポンプ場、ごみ処理場、検査所、物流・配送センター、卸売市場など	
						区分できなかったもの	データの欠損	
	ガラス	目標基準値策定済み	サッシのデータ整備後に「非住宅等用」として検討予定 ※ガラスメーカーが建物用途別出荷データを整備することは商流上困難					

以上